

業 務 の 名 称	分流式下水道の雨天時浸入量予測及び雨天時運転支援技術に関する実証事業
業 務 概 要	本委託研究は、機械学習や深層学習AI技術等を活用して、流入水量予測等から下水処理場の対応判断や運転操作等のガイダンスを可能とし、かつそれによりポンプ運転操作の効率化を図り、下水処理場設備の水没・浸水を回避し、汚泥流出リスクを縮減できる雨天時浸入水等による流量変動に対応可能な水処理技術について、実規模レベルの施設を設置して実証研究を行うものである。
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所長 奥村 康博 茨城県つくば市旭1番地
契 約 年 月 日	令和4年7月25日
契 約 業 者 名	住友重機械エンバイロメント・丹波市共同研究体
契 約 業 者 の 住 所	東京都品川区西五反田七丁目10番4号
契 約 金 額 (税 込 み)	¥19,008,000
予 定 価 格 (税 込 み)	¥19,008,000-
随意契約によることとした理由	委託研究については、国土交通省水管理・国土保全局により設置された学識経験者等からなる下水道革新的技術実証事業評価委員会において、あらかじめ研究開発課題の公募を行い、同会議において審査基準に基づき審査された結果、令和3年度、本研究課題及び委託先(住友重機械エンバイロメント・丹波市共同研究体)が選定されたものであり、令和4年3月に同会議で中間評価が行われ、研究の継続が妥当であると評価されたものである。なお、令和4年3月の中間評価結果等については、国土交通省のホームページ等で詳細に公表されている。 以上のことから、本委託研究は、審議会等により委託先が決定された者との委託契約に該当するので会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、随意契約するものである。
業 務 場 所	茨城県つくば市旭1番地
業 種 区 分	-
履 行 期 間 (自)	令和4年7月26日
履 行 期 間 (至)	令和5年3月31日
落 札 率	-
再 就 職 の 役 員 の 数	-
備 考	